

地域密着型金融の推進について(平成 22 年度の実績)

島根中央信用金庫

■ 地域密着型金融の更なる推進と位置づけ

島根中央信用金庫は、地域社会の発展に貢献し、ともに成長することを経営理念に定めています。そのため、平成 15 年度以降、取組んできた地域密着型金融（リレーションシップバンキング）の機能強化策を通して、地域の中小企業や個人のお取引先等に対し円滑な資金提供をするとともに、ニーズや課題に合わせたきめ細かな対応をおこなっていくことで、信用金庫としての「使命」を果たしてまいりました。しかしながら、地域経済社会の現状は、人口の減少、少子高齢化の進展や公共工事の縮減等厳しい状況が続き、地域の中小企業や個人のお取引先等の課題やニーズはより深くなっています。こうした状況のなか、当金庫は地域経済社会を活性化し、持続可能な地域経済社会を実現するため、恒常的な地域密着型金融の推進が不可欠であると考えており、平成 22 年度も引続き資金仲介機能の発揮と企業再生支援の取組みを一層強化いたしました。

▶ ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

1. 経営改善支援指導の強化の取組みにおいて、21 年 7 月から経営アドバイスや改善策、経営情報等を提供する経営セミナー（個社別の個別相談会含む）を開催し、経営支援活動の一環として取組んでおります。

★中央しんきん経営サポートセミナー(三井住友海上経営サポートセンターと連携)

第 1 回「顧客対応力・サービス向上」(接遇) 平成 22 年 7 月 97 名参加

第 2 回「成長戦略のためのニュービジネスセミナー」 平成 22 年 12 月 48 名参加

第 3 回「貸金体系と人事・評価制度の見直し」 ※東日本大震災の影響で講師の招聘が困難となり平成 23 年 6 月に延期にしました。(55 名参加)

2. 情報提供機能の強化並びに経営相談能力の向上の取組みにおいて、取引先の販路拡大のためにビジネスマッチングを開催し、2 件の成約となりました。

★Win-Win2010(広島)ビジネスマッチング

平成 22 年 9 月 16 日に広島県立広島産業会館にて開催された Win-Win2010 に 9 社参加されました。

★ビジネスフェア中四国

平成 23 年 2 月 4 日、5 日に広島市中小企業会館にて開催されたビジネスフェア中四国に 15 社参加されました。

★銀の風夢まつり

平成 22 年 7 月 18 日に仁摩サンドミュージアムで開催(石見大田 J C 主催)された「銀の風 夢まつり」にブースとして参加し、しまね産業振興財団(石見オフィス)および中小企業基盤整備機構との外部連携により面談し、相談企業には当日以降、管轄である営業店担当者と同行して相談内容に対する各団体の回答をフィードバックすると共に、今後も継続的な情報提供を約束して営業店への橋渡しを行いました。(8 社)

3. 創業・新事業支援の強化の取組みにおいて市町村、商工会議所等と協力して、公的補助金、公的支援の活用アドバイスと創業に対応する融資商品の提供を行いました。また、島根県第1号ファンドおよび島根県第2号ファンドなど活用しています。

★各市町村の空き店舗の有効活用と公的補助金の活用、経営支援アドバイザー派遣による3件の取組みをいたしました。
 ★創業・新事業支援の取組みでは、20件3億9百万円の実績となりました。

➤ **事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底**

不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組みについては、動産・債権譲渡担保融資は、5件、307百万円の実績となりました。無担保・無保証融資商品の取扱いについては156件、6億17百万円の実績となりました。

➤ **経営改善支援の取組み実績**

経営改善支援の取組みは、支援対象先174先のうち、支援先および実抜計画策定先58先に対して取組みを行い3先のランクアップとなりました。

22年度 経営改善支援等の取組み実績	期初 債務者数 A	うち経営改善 支援取 組み先数 α	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	αのうち期 末に債務 者区分が 変化しな かった先数 γ	αのうち再 生計画を 策定した 先数 δ	経営改善 支援取組 み率 α/A	ランクアッ プ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
正常先 ①	1,837	3		2	3	0.2%		100.0%
要注意先	413	47	2	37	46	11.4%	4.3%	97.9%
うちその他要注意先 ②								
	9	1	0	1	1	11.1%	0.0%	100.0%
うち要管理先 ③								
破綻懸念先 ④	124	5	1	3	5	4.0%	20.0%	100.0%
実質破綻先 ⑤	64	2	0	2	0	3.1%	0.0%	0.0%
破綻先 ⑥	41	0	0	0	0	0.0%	—	—
小計(②～⑥の計)	651	55	3	43	52	8.4%	5.5%	94.5%
合計	2,488	58	3	45	55	2.3%	5.2%	94.8%

- ・期初債務者数及び債務者区分は22年4月初時点で整理しております。
- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含みます。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しております。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
- ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。
- ・「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」